

# 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

石黒 大輔(介護支援専門員/包括)

**功 績** 前任のTQM推進委員がR5.5に退職となり、担当者不在の時期が続き活動の進捗が遅れる事態となりました。石黒は率先して推進委員にチャレンジしたいと手を挙げ、自らTQM手法を遅くまで自己学習し、PPTの作成や発表者も担い施設内発表大会・本部大会共に優秀賞を受賞。広島で行われました全国大会におきましても、優秀賞を受賞する事ができております。

尚、去年は精神保健福祉士にも受検し見事合格。社会福祉士としても権利擁護案件を中心に丁寧な対応をしており、常にアウトブランディングを視野に入れ対応していることへの功績。

**推 薦 者** 鈴木穰(包括センター長)

**推 薦 理 由** TQM活動の遅延が発生し停滞していた中、率先してチームリーダーの役割へチャレンジしてくれたことは、今年度のテーマである「スピードとチャレンジ」また「愛情を持った親身な対応」に繋がると考えます。

活動は過程や継続性が重要ですが、施設内・本部・全国において「優秀賞」を獲得できたことは「やりがい」や「アウトブランディング」にも繋がると考えます。

チームの成長には個人の成長が必要不可欠です。自己研鑽も怠らず、使命感を持ち取り組む姿勢は他の職員の模範となると考え、推薦させていただきます。

## 内 容

石黒は、介護支援専門員及び社会福祉士として、舟渡おとしより相談センターに従事しております。勤続3年目ではありますが、権利擁護中心のスペシャリストとして専門性を学びたいと、昨年精神保健福祉士を受検し、見事合格致しました。

今年度に入り、TQM活動「ひとりぐらし高齢者の見守りネットワークの構築」と題し、板橋区における原則として70歳以上で一人暮らしの方対象の仕組みづくりに着手しました。活動の内容は、板橋区19包括の中でも新たな試みであり、板橋区からも高い評価を受け、この活動は広がりつつあります。

今年度、TQM活動主軸の職員が1名退職となり、TQM活動への仕組みづくりが滞っていた中、石黒はTQM手法を自らが学び、チームの主体へと手上げを行ってくれ、推進委員に所属。全国大会への発表内容を何度も予演会を行いブラッシュアップさせ、11月18日の「医療の改善活動in広島」において、優秀賞を受賞する事ができました。研修においては初級講座を受講し、TQM手法をしっかりと理解され、他の病院・施設の発表を通し、今年度の経費削減TQMも主導で実践してくれております。

2023年度 経費削減TQM「書類仕分けの作業時間の短縮」と題し、問題解決型にて5時間54分掛かっていた時間を3時間27分へ2時間27分の短縮に繋げる事ができております。